

ザオ一産業株式会社



シニア従業員が会社の盛り上げ役



ザオ一産業株式会社

取締役工場長

三城 俊二さん

〒344-0123

春日部市永沼 614-2

導入した制度

継続雇用：上限年齢70歳
(定年：60歳)



◆事業内容

プラスチック成型加工を行っています。従業員数は27名で、そのうち65歳以上は3名です。

◆どのような制度を導入しましたか？

弊社が定める基準に該当する者について、継続雇用の上限年齢を65歳から70歳に引き上げました。

制度導入時、既に60歳以上の従業員が6名、そのうち65歳以上の従業員が3名勤務しており、皆とても元気に働いていました。そこで、現状に即した規程に改正し、人手不足の解消につなげるとも

に、従業員の人生の支えになればという思いで導入をしました。物価高で年金のみでは日々の生活が難しい時代ですので、安心を与えることは企業の役目だと思っています。

◆シニアが働きやすい環境づくり

体力、健康面での配慮をしています。特に夏場の暑さ対策として、空調服の支給、スポットクーラーや換気扇の設置を行いました。

勤務日数や勤務時間は、従業員の希望を聞いて柔軟に対応するようにしています。

◆シニア従業員を雇用してよかったこと

シニア従業員は、豊富な業務経験を生かし、レアケースでも柔軟に対応してくれています。

また、現場の課長に意見をしてくれることもあります。若手従業員が言いづらいことを代弁してくれたり、ベテランならではの考え方で、業務改善に役立つ提案をしてくれるので、とても助かっています。

弊社のシニア従業員はとても元気ですし、頼りになります。そのため、会社も年齢ではなく個人の能力で継続雇用の更新を見極めるようになりました。

また、シニアが働きやすくなるために労働環境の改善に力をいれることで、エンゲージメントが高い状態が保たれて、よい空気が職場全体に流れていると感じます。

◆他の事業者へのアドバイス

年齢で決めつけるのではなく、シニア従業員が会社のためにどのように貢献してくれるかで考えています。そのために業務遂行能力と発揮能力の評価は欠かせません。労働時間は柔軟に、持続可能な設定を検討して、1年でも長く働いてもらえるよう個別に配慮した労働契約にした方がよいです。

作業面では、ペア就労で若手従業員の育成に力を入れてもらうことを役割として与え、技術の囲い込みがないよう、育成計画を作成して共有すると良いと思います。

弊社では、最年長が他の人たちよりも一番パワフルに動いており、そういったところを若手従業員に実際に見てもらっています。



■ベテラン従業員に聞いてみました



小柳 大輔 さん（77歳）

① 仕事内容

工場で使用する資材の管理を行っています。1袋 25kg ある資材を手で持ち上げ、混合器へ投入しているのですが、1日に合計 500 kgほど（20袋）になることもあります。現在、若手とペア就労し、技術を伝えています。

勤務時間は8時から17時までで、週5日勤務しています。

② 80歳過ぎても頑張りたい

会社がシニアの活躍の場を作ってくれて、そして工場長が色々フォローしてくれるので頑張れています。また、社長が代わり、新体制になったことで、業務改善された点もあり、会社の雰囲気さがさらに良くなったことも頑張っている要因です。

日々何事もなかったことがいいこと。これでまた明日目が覚めたら頑張ろうという感じですね。いつもみんなには、「朝、目が覚めたら出勤するよ」と伝えています。

80歳を過ぎても会社が「いいよ」って言うてくれれば、いつまでも働きたいです。

③ 今の生活のペースを保ちたい

4時過ぎに目が覚め、会社に来て仕事をし、帰宅後ご飯と晩酌をして、21時には寝るという生活。

長年同じ仕事を続けていることで1日のローテーションに慣れているため、休みがあるとかえって疲れてしまいます。動いていた方が自分の性に合うんでしょうね。